

# サンクチュアリーセンターニュース vol.71



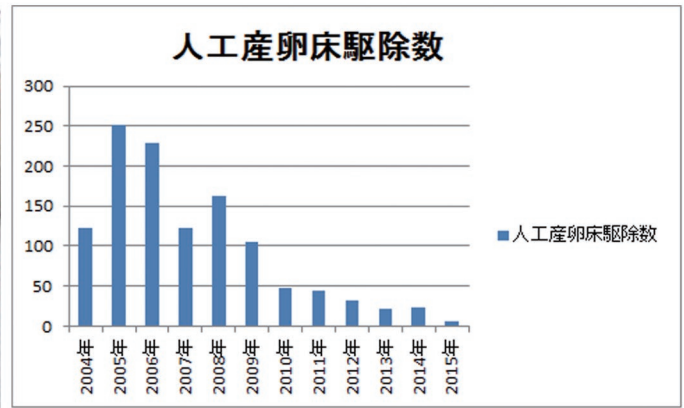
## 保全活動

### ブラックバス駆除活動とその成果

電気ショッカーなどの駆除活動で年々ブラックバスの個体数は減ってきています



電気ショッカーによる駆除風景



人工産卵床駆除数

### バス・バスターズの活動が始まりました

2004年に開始したバス・バスターズの活動は、今年で13年目を迎えます。これまで継続した駆除活動により、人工産卵床に産み付けられるバスの卵の数は年々減少しています。ここ数年はピーク時の10分の1以下となり、昨年は過去最も少ない駆除数となりました。2009年以降には、モツゴやテナガエビなどが増加し始め、バス駆除の成果が現れ始めています。

※ブラックバス駆除のため、釣りをされている場所の近くで作業を行う場合がございます。安全には十分に配慮して実施しますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いします。

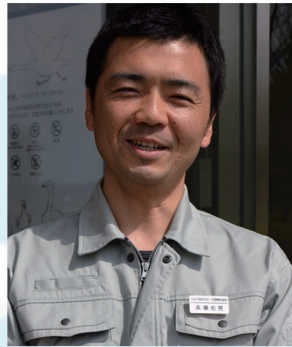




事務局長

しらいわ とおる  
**白岩 亨**

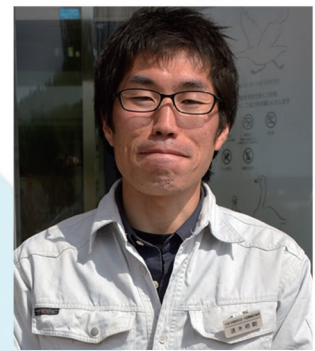
皆様に愛される財団を目指します。



研究補助

たかはし ゆうすけ  
**高橋 佑亮**

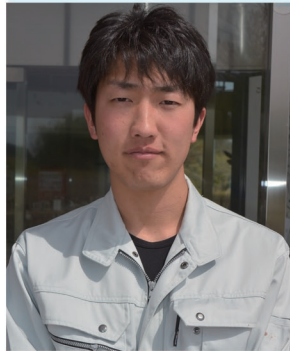
自然体験講座やバス・バスターズでお目にかかりましょう。ご参加お待ちしております。



研究補助

はやみ ひろき  
**速水 裕樹**

植物三昧の生活をしています！  
奇妙な植物の情報お待ちしています。



研究補助

くらたに なおよし  
**倉谷 忠禎**

昆虫が大好きです！  
昆虫を捕まえたら教えてください！



業務補助

すがわら だいし  
**菅原 大嗣**

みなさんと財団の架け橋に  
なれるようがんばります！



## こんなの見つけたよ！

ミズキ *Cornus controversa Hemsl*



写真は伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターの裏山で撮ったものです。幹が赤く染まり、まるでホラー映画の一場面のように。これはミズキの樹液がバクテリアの作用で赤く染まったもの。春先に切った枝先から流れ出る樹液の多さは、「ミズキ」の名の由来にもなっています。ミズキは日本各地の人の手の加わった二次林や谷筋などで見られ、伊豆沼周辺にも多い高木です。その花は5、6月ごろ咲き、白く目立ちません。。また、秋口に赤く染まった枝は、繭玉(かつて繭の豊収を祈って作られた作り物の一種)として利用されてきました。人々の暮らしの身近に存在する樹木と言えます。

## 伊豆沼・内沼生き物図鑑



チュウヒ *Circus spilonotus*

タカの仲間で、カラスと同じくらいの大きさです。遠目には茶色の鳥に見え、一見するとトビ(とんび)とよく似ていますが、チュウヒは写真のように両翼を浅いVの字に構えて飛ぶことが特徴です。日本では局地的に少数が繁殖していますが、多くの地域では冬鳥です。伊豆沼・内沼でも冬季に渡来します。ヨシ原で見られることが多く、低空を飛びながらネズミや小鳥などを捕らえます。チュウヒの顔は、ほかのタカ類よりも平面的で集音しやすくなっており、目だけでなく耳も利用して獲物を探すとされています。絶滅危惧 I 類(環境省2014)

### <事務局>

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団  
〒989-5504 宮城県栗原市若柳上畑岡敷味17-2  
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217  
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp  
ホームページ: <http://izunuma.org/>